

たけのこだより

第4号

荒川区立第二瑞光小学校
たけのこ教室
令和5年12月5日、11日

朝晩の冷え込みを感じるようになり、寒さも本格的になってきました。早いもので、2023年も残すところ1ヶ月を切りました。

2学期は運動会や展覧会等、大きな行事がたくさんあり、それぞれの行事の中で、子供たち一人一人の頑張る様子が伝わってきてとても嬉しく思いました。

たけのこ教室の小集団活動紹介 「いいねちゃん研究所」

「いいねちゃん研究所」は、友達の良いところや頑張っているところをメッセージカードに記入したり、友達からもらったメッセージカードを発表して、自分が活躍できそうなことをアドバイスしてもらったりする活動です。

活動のめあては、「自分や友達のいいところを知ろう」「自分が活躍できそうなことを知ろう」でした。そこで、友達の良いところや頑張っているところをみんなで出し合い、自分を含めた友達の活躍できそうなことを担当が紙に箇条書きにしてまとめました。その紙と「いいねちゃんカード」は、その後に行われた「こまったちゃん研究所」でも活用しました。

授業を終えて

- ・自分の良いところが思ったよりいっぱいあった。
- ・自分では気付けない良いところを知れてよかった。
- ・思っていた以上に自分だけの良いところがあり嬉しかった。
- ・友達に自分の良いところを見つけてもらえると嬉しい。
- ・友達に良いところをたくさん伝えることができた。

他者を理解したり、他者の視点や評価を情報源にしたりして、自分自身のイメージを形成する活動になりました。

《3学期の指導予定日》

月曜日（8回）

1月 15日、22日、29日
2月 5日、19日、26日
3月 4日、11日

火曜日（8回）

1月 16日、23日、30日
2月 6日、13日、20日、27日
3月 5日



《保護者面談について》

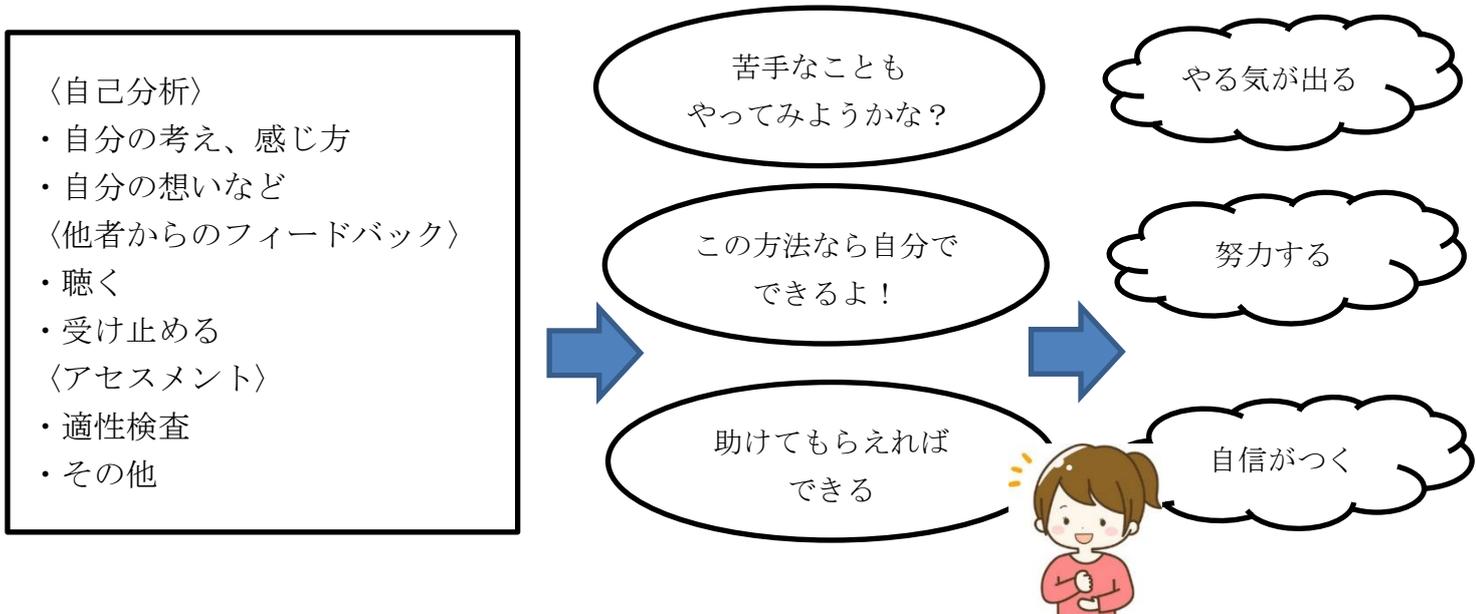
3月上旬に保護者面談を行います。2月中に保護者の皆様へお便りを配布させていただきますので、ご都合のよい日時をお知らせください。

ご家庭でのお子様の様子をお聞かせいただきながら、今年度のたけのこ教室での指導の成果や課題、次年度に向けてのお話をさせていただけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

自己理解の支援

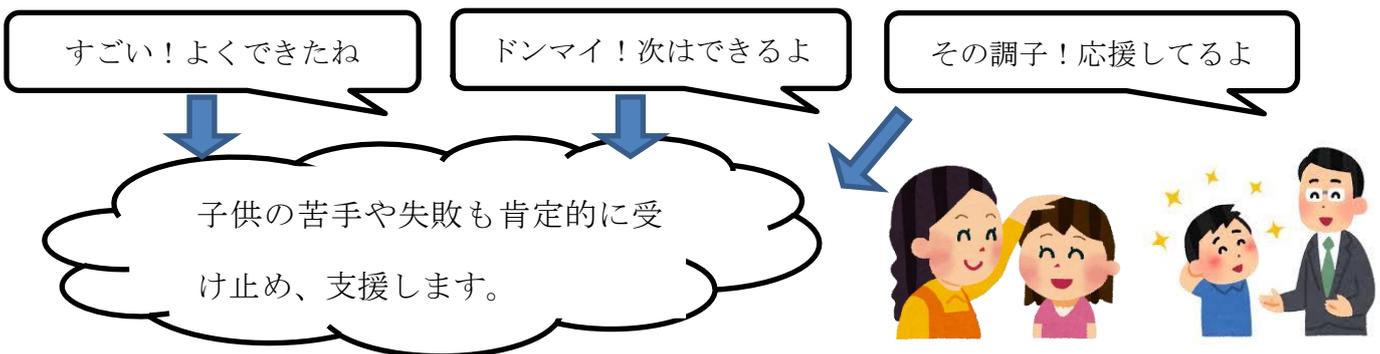
自己理解とは自分自身の得意なことや苦手なこと、心の様子などを知ることです。自己理解ができると、自分の長所を生かせそうな場がわかり、自分の課題との向き合い方を考えられるようになっていきます。自分の課題を受け止めることは、支援の必要性を自覚することにつながります。

【自己理解の方法】



たけのこ教室では、自分の課題を肯定的に受け止め、得意なことと共に、多面的に自己理解ができるよう指導しています。

【大切にしたいこと】



たけのこ教室では、本人の困り感に共感し、子供の気持ちに配慮し、子供目線で支援しています。日頃から子供と向き合い言葉を交わすこと、気持ちを察したり、その気持ちを言語化して認めてあげることを大切にしています。個別指導や小集団活動でめあてや目標に沿って指導し、その日の振り返りでよくできたことを評価しています。それを努力するモチベーションにつなげ、自身の成長につなげていきます。